

22. まんぷく子どもカフェ

記録：川野優月

場 所：さるなかとんな toto（瀬戸市菱野台 4-4-3 菱野ウイングビル A-4）
対 象：子ども、大人
参 加 費：幼児/小学生 100 円、中高生 200 円、大人 300 円
代 表 者：中島道代
プレオープン：2016 年 4 月 20 日
初 回：2016 年 5 月 7 日（土）17：00～ 毎月第 1, 3 土曜
（5 月～11 月：17:00～、12 月～：12：00～）

みんなで食べると楽しい！おいしい！
子どもがひとりでも入れる食堂です

参加日時①：11 月 5 日（土） 17：00～ （ボランティア 15：00～）
参加人数：子ども 29 人、大人 4 人、スタッフ 10 人
献 立：もちもちカレー、ショートパスタとさつまいもとレーズンのサラダ、
豆腐白玉とバナナと黒蜜のデザート、（柿）
参 加 者：川野優月

参加日時②：12 月 3 日（土） 12：00～ （ボランティア 10：00～）
参加人数：子ども 23 人、大人 14 人、ボランティア 12 人
献 立：まんぷくポークチャップ、グリーンポテトサラダ、里芋とベーコンのスープ、
白いご飯、みかん、（梅干）
参 加 者：井上実、川野優月

◎きっかけ

テレビや新聞で子ども食堂の存在を知り、子ども食堂という活動に興味をもった。実際にすでに活動をしていた、ちくさこども食堂（キッチン ARAGUSA）を訪れ、活動内容を知り、彼らの活動に感動した。それと同時にこれなら自分たちにもできるのでは？と思いきや軽い気持ちで子ども食堂を開くことにした。貧困の子が来てくれればいいな…とは思っているが、実際は誰が貧困なのかは分からないし、確認もできないことなので、対象者を貧困家庭にこだわっているわけではない。

◎お店

さるなかとんな toto さんの場所を 1 時間 1000 円で借りて使用している。1 回の開催で 5 時間借りるので、毎回 5000 円の場所代がかかっており、食材費なども含めると 1 回の開催にかかる費用は約 1 万円。入り口に受付を用意しそこで参加費を払うようにしている。座席は 23 席（テーブル 4 名×2、2 名×2、6 名×1、カウンター5）あり、遊ぶスペースはなく、食べ終わったらすぐに帰るようになっている。17 時（12 時）になる前から外で

並ぶ人もおり、時間になるとすぐに満席になるほどの人気。用意していた食事（毎回 30 食ほど用意している）がなくなり次第終了という形をとっており、毎回 1 時間ほどで受付終了になる場合が多い。食堂内には子どもが好きな音楽が流れており、子どもを楽しませる工夫がされている。また、食材提供してくださった方には御礼状を送っている。

◎ボランティア

はじめは、子ども食堂に興味のある人が集まって運営しており、5、6人で30食分を用意しなければいけなかったのが大変だったが、その後、口コミや友人の紹介などでボランティアが増えていき、今では毎回10人以上のボランティアが参加している。ボランティア名簿をつくり、参加できる日の確認をしているが、よく参加してくれる人はだいたい決まっている。献立を考える人は3人おり、3人が交代で献立（作り方）を考えてきて、それに沿ってボランティアが調理するという形をとっている。ボランティア募集のチラシを掲載しているが、なかなか集まらなく、少し悩んでいる。継続的に来ることのできる学生などの若いボランティアにも参加してほしいと思っている。

◎資金

子ども食堂を開設する際に、せと市民活動応援補助金（10万円）とコープあいち福祉基金（10万円）の助成金をいただく。このお金で食器などを購入した。助成金の他に匿名での現金寄付もある。

◎食材、献立

米、肉、卵は、子ども食堂を開いてから一度も購入しておらず、毎回寄付していただいている。野菜や果物は農家さんや近所の方が寄付してくださり、ネットやFacebookを通じて、まんぷくこどもカフェの存在を知り、寄付してくださる方もいる。寄付で足りない食材（主に野菜）や調味料は購入したり、ボランティアの方が持ってきたりしている。クリスマスの際は、ヤマザキ製パン従業員組合からケーキの寄付があった。

メニューは、こどもが好きそうなもの、味を考えて作っている。バランスを考え、野菜を取り入れたり、色合いにも気を付けており、食感の違うものを組み合わせるといった工夫もしている。なるべく温かい状態で子どもたちに食事を提供できるように気を付けている。おかわりは自由にでき、毎回どのメニューが何回おかわりされたかを記入し、次回からの献立作りに活用している。

◎来店者

子どもたちだけで来ることのできる子ども食堂を意識しており、実際に他のこども食堂と比べると、子どもだけ（お友達や兄弟）で来ている子が多い。そのため、開催時間を夕方からお昼に変更をした。時間帯をお昼に変更してからは親子で来る人が増えたように思った。学校でこども食堂のチラシを配布してもらっているため、同じ小学校に通う子がほとんどであり、毎回来てくれる子どもが多い。4人兄弟の子や、お姉ちゃんが小さい妹と弟を連れてきてる子など、貧困かどうかはわからないが、経済的に豊かではなさそうな印象を受けた子も何人かいた。

◎宣伝

主な宣伝方法としては **Facebook** とチラシを利用している。チラシは近所の学校に配布してもらっており、その学校の生徒さんがよく来ている。子ども食堂開催のお知らせとボランティア募集のチラシの 2 種類がある。来店者はチラシを見てくる人が多く、ボランティアや食材提供などは **Facebook** を見て連絡してくださる方が多い。

◎課題、悩み

献立を決める人が 3 人しかおらず、少し困っている。100 円で提供する食事だからと言って手を抜きたくなく、普通の料理屋さんのような店の味や雰囲気を目指しているため、献立を考えるのも大変。また来店者数がわからないため、どのくらいの量を作るべきか毎回悩んでいる。興味本位で子ども食堂を始めたが、実際はすごく大変だった。イベントなどで 1 回開催するだけなら簡単なことだが、ずっと継続させていかないといけないものなので、大変な部分も多い。当初の目標であった、運営を地域の人に任せる。ということがなかなか難しい。

◎感想

私が訪問した 2 回とも開店時間の 15 分ほど前から外で待つ子どもたちがたくさんおり、子ども食堂を楽しみにしている印象をうけた。学校でチラシを配布してもらっている効果なのか、子どもだけの来店が他の子ども食堂に比べると多く、開催時間を夜から昼に変更したのは正解だと感じた。毎回来てくれる子どもが多く、ボランティアの人が子どもたちの名前を覚えていて、食事中に積極的に話しかけたり、子どもの小さい変化にも気づいていたのが印象的で、地域の居場所づくりとは、こういうことなのかな、と感じた。

◎写真



お手伝いいただけるスタッフを募集中！ 資料の配布、ご連絡もお願いいたします

まんぷく子どもカフェ

子どもがひとりででも入れる食堂です

★12月よりランチになります★
毎月第1・3土曜日 正午12時～

料金
幼児 小学生 100円
中高生 200円
大人もOK 300円

お子さんと一緒に！

場所 さるながとんな toto
瀬戸市菱野台 4-4-3
菱野ウイングビル1階

なくなり次第終了

主催 せと・まんぷく子ども食堂

12月3日・17日
1月21日
2月4日・18日
3月4日・18日

